

NCGG セミナー

(LBD-1)

演者： 葛原茂樹 先生

鈴鹿医療科学大学 特任教授

2月21日(火) 17:00-

研究所2階会議室

レビー小体病の疾患概念と 最近の発症機序仮説

レビー小体病はアルツハイマー病に次いで頻度の高い神経変性疾患であり、65歳以上の日本人の100人に1人が罹患する可能性があります。

葛原茂樹先生は、東京都老人医療センター（現・健康長寿医療センター）医長、三重大学神経内科教授、国立精神神経センター病院長を歴任される中で、レビー小体病に関する臨床から基礎まで幅広いご研究をなさってこられました。

今回はレビー小体病について、皆様にわかりやすくご講演をいただく予定です。

多数の方のご参加をお待ちしております

連絡先：丸山和佳子@加齢健康脳科学研究部 (ex 5551)